

テナブルがパートナーエコシステムを拡大し、 サイバー・エクスポージャーのライフサイクルに対応

※本リリースは 2019 年 8 月 6 日(米国時間)に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。原文は下記 URL を参照ください。

<https://www.tenable.com/press-releases/new-vulnerabilities-in-verizon-routers-expose-millions-of-consumers-according-to>

サイバー・エクスポージャー会社の Tenable®, Inc. (以下テナブル 所在地: メリーランド州コロンビア、代表: Amit Yoran (アミット・ヨーラン)) は、パブリッククラウドインフラ分野、SIEM 及び IT サービスマネジメント ソリューションそれぞれのトップベンダーが提供する新たな強化型技術インテグレーションを取り入れ、サイバー・エクスポージャーのエコシステムを拡張することを発表しました。これはテナブルのオンプレミス及びクラウド環境において、不正資産を自動で発見・評価する新たなイノベーションに続く発表です。

新たなイノベーションとエコシステムの拡張によって、利用者は攻撃サーフェス、統合セキュリティ、および IT ワークフローにおいて、より高い可視性をもってサイバーリスクを管理、測定、軽減できるようになり、企業側は脆弱性の高速な検知及び修復を実現可能にします。

【米国テナブル社 Ray Komar 氏(技術アライアンス担当副社長)のコメント】

当社は、利用者がクラウド上、オンプレミス、IT、OT、など様々なシステムに潜んでいる可能性のあるサイバーリスクを理解してもらうべく、我々の信頼できるパートナーとともにサイバー・エクスポージャーエコシステムを系統的に拡大しています。利用者がサイバーリスクを分析し、最初に何を修復すべきかの優先順位付けができ、そして最終的には事業リスクを軽減する強靱なサイバープログラムを構築できるよう一流のベンダーと密接に連携しています。

今回の新しい拡張インテグレーションには下記が含まれています。

<IT サービスマネジメント: ServiceNow>

テナブルは、ServiceNow への統合を拡張します。脆弱性優先評価(VPR)を ServiceNow セキュリティオペレーションと ITSM インテグレーションに搭載することで、利用者がそれぞれの事業リスクに基づいて、修復すべき脆弱性の優先順位付けをし、フィルターにかけて検視できるようサポートしています。また、複数のテナブル脆弱性データを ServiceNow 脆弱性レスポンスと ServiceNow CMDB の中に同時に取り入れることで、脆弱性データの同期スピードを最大 400% 高めることができます。拡張インテグレーションには、ServiceNow Madrid のサポートも含まれています。

<パブリッククラウドインフラ: AWS Security Hub>

アマゾン・ウェブサービスは、AWS Security Hub の一般利用を発表しました。同サービスによって、利用者が AWS 環境でセキュリティとコンプライアンスを管理できる拠点を提供します。

Tenable.io® 用の AWS コネクタは、自動的かつ連続的に AWS クラウド環境下における資産の変化を発見し追跡します。全ての変化を検知し、そのリスクを評価するように設計されています。一般的には時間で管理されているクラウドワークロードの稼働において、AWS コネクタは Tenable.io の中にある全てのクラウドベース資産の統合ビューをすることで、より正確なサイバーリスクの可視性を実現するという重要課題を解決します。これによりセキュリティチームは、最新の攻撃サーフェスにおけるサイバー・エクスポージャーに対して、よりの確な管理ができるようになります。

<SIEM: IBM Qradar>

IBM は Tenable.io と IBM Qradar を新たに統合できる新製品を発表し、利用者がオンプレミスとクラウドベースの両方で企業データを完全に可視できるサポートを開始しました。利用者はレポートを作成し、スケジュールを読み込み、脆弱性を検知することで、その分析を活用して、調査を迅速に進めインシデントの影響を軽減することができます。Tenable.io との統合は既存の Tenable.sc™ (旧 SecurityCenter) との統合への追加となります。

最新の機能に関する詳細情報は <https://www.tenable.com/partners/technology> をご覧ください。

【米国テナブル社プロフィール】

Tenable Network Security は、世界中の 24,000 社を超える組織に対し、総合的なセキュリティソリューションにより、将来のビジネスニーズに合わせてそのテクノロジーを変革し、組織組織の情報保護に向けた有効的な対策を提供しています。Nessus®を開発した Tenable は、脆弱性対策の技術をさらに発展させることで、あらゆる情報資産やデバイスの脆弱性を管理、保護できる世界初のセキュリティプラットフォームを展開。Tenable のセキュリティプラットフォームは、大規模行政機関ならびに、米国ビジネス誌 Fortune が選定する『Fortune 500』(総収入に基づいた全米上位 500 社)に選ばれている組織の 50% 以上、世界の有力組織 2000 社の 25% 以上に導入されています。詳細は tenable.com へ

【米国テナブル社企業概要】

商号: Tenable Network Security
代表: Amit Yoran アミット・ヨーラン
住所: 7021 Columbia,
Gateway Drive Suite 500 Columbia,
MD 21046

【テナブル社企業概要】

商号: Tenable Network Security Japan K.K.
住所: 東京都千代田区丸の内 2-3-2
郵船ビルディング 1 階